

命とくらしを守る 統合型地図システム



地域特性に
合わせた
カスタマイズが
可能

建物に番地が
表示されます

海拔高度が
一目でわかる



今、自分が
どこにいるのか
わかりやすい

どこに逃げれば
良いのか
わかりやすい

スマホでも
タブレットでも
もちろん
パソコンでも

誰でも
カンタンに
使える

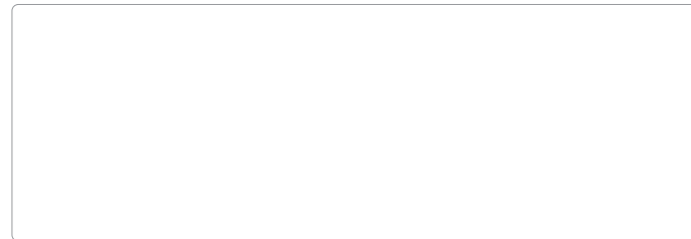
お問い合わせは

PHONE
098-869-1172

URL
<http://www.japan-map.jp>



販売代理店



販売元

 **日本地図システム合同会社**
〒900-0002 沖縄県那覇市曙1-20-20
TEL:098-869-1172

開発元

 株式会社アイアム ネットワーク事業部
〒900-0002 沖縄県那覇市曙1-20-20
PHONE (098) 860-6226 / FAX (098) 860-6323

地図製作元

生活地図株式会社
〒901-2133 沖縄県浦添市城間2-7-3
TEL:098-943-0095



 **日本地図システム合同会社**
JAPAN MAP SYSTEM Limited Liability Company

命とくらしを守る新しいソリューション

統合型地図システムは「今どこにいて、どこに逃げればいいのか」がわかる地図として内閣官房にも認められた新世代地図をベースにしています。

これまで自治体、企業の各部署で別々に利用されてきた複数の情報を、必要に応じて地図レイヤーに統合することができます。
行政や地域住民、民間でも様々な有効利用が可能で、特に防災や医療の分野でより多くの社会的課題を解決し、災害時の支援ネットワークを強固なものにします。人びとの命や生活、笑顔と未来を守ることが、本地図システムのコンセプトです。

統合型地図システムの特徴（一部抜粋）

- 1 番地を中心として地図を表現し、今いる場所や周辺がわかりやすい
- 2 氏名など個人情報を地図上に直接記述することなく紐づけが可能
- 3 海拔が色分けされ、今いる高度が直観的にわかりやすい
- 4 縮尺が大幅に圧縮されることにより広い鳥瞰性を実現
- 5 スマートフォンなど比較的小さなデバイスでも利用可能
- 6 多層化されたレイヤー構造により異なる部門間でも連携が可能
- 7 地図上の番地からデータベースへの逆引きができる
- 8 CSVデータから簡単にマッピングできる



統合型地図システム導入のメリット



運用者側のメリット

- 各部署が持つ地図データを重ね合わせて、情報が統合された使いやすい地図を作成できる
- 防災+医療、教育+防犯など、多角的な情報を1枚のレイヤー上で表現
- 地図データを印刷物やWebサイトに転用可能承認機能により、各部署ごとに扱える地図情報をコントロールできる
- システムの操作に特別な技術、知識が必要なく誰でも簡単に扱える
- 秘匿性の高い住民情報、個人情報が高いセキュリティで安全に扱える（非公開型）



住民側のメリット

- 目的ごとに複数の地図をつど参照することなく、サブレイヤーの切り替えで簡単にかつ視覚的に情報を入手できる
- 地図上に番地情報が記載された、災害避難時に非常に有効な防災地図を利用できる
- 居住地域の実情を考慮してカスタマイズされた、より住民にわかりやすい地図を利用できる
- 災害時に現在地を中心に最寄りの避難場所を含めた地図をダウンロードできる
- 平常時には生活マップ等としても使え、防災地図への切り替えも容易

①くらしの安全・安心 ②防災対策の効率化 ③コスト削減 を実現します

「今、どこにいるのか」「どこに逃げればいいのか」が、わかりやすい地図として、生活地図社の新世代地図が内閣官房「国土強靭化 民間の取組事例集」に選出 平成28年度/29年度（2年連続）

沖縄県による「沖縄アジアITビジネス創出促進事業 他産業連携クラウド環境促進部門」に統合型地図システム開発プロジェクトが採択 平成28年度/29年度（2年連続）

第46回沖縄県発明くふう展にて最優秀賞（県知事賞）を受賞

新世代地図はすでに多くの自治体で導入済

JR東日本「池袋駅」「新宿駅」「東京駅」/スーパー自助力マップ「中央区」「台東区」
沖縄市防災マップ/那覇市学校マップ/糸満市津波減災マップ/なんじょう情報マップ/八重瀬町
防災マップ/南風原町お役立てマップ帳/竹富町防災マップ/金武町防災マップ

